



聖母ニュース



編集・発行
社会福祉法人聖母会聖母病院
〒161-8521
東京都新宿区中落合2-5-1
TEL03-3951-1111
<https://www.seibokai.or.jp>



◆ 理 念 ◆

愛をもって病める人を癒されたキリストにならない、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみとめる。

◆ 基 本 方 針 ◆

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関および福祉施設等と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

◆ 患者様の権利と責務 ◆

患者様には次の権利が保障されています。

1. 平等かつ適切な医療を受けられます。
2. 人権が尊重されます。
3. 病気、治療について十分な説明が受けられます。
4. 医療内容を選択または拒否できます。
5. 個人情報やプライバシーが守られます。
6. セカンドオピニオンを求めることができます。

患者様へのお願い(責務)。

1. 適切な医療を受けるために、健康(病状)に関する情報を正しくお知らせください。
2. 医療行為に関して納得したうえで意思を明らかにし、指示に従ってください。
3. お互いによりよい治療と療養生活を送るために、定められた規則を守ってください。

聖書のことば

労苦し、重荷を負っている者は皆、わたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしの心は柔和で、謙遜であるから、わたしの轡を受け入れ、わたしに学びなさい。そうすれば、あなた方は魂の安らぎを見出す。
(マタイ11:28-29)

Come to Me, all you who labor and are heavy laden, and I will give you rest. Take My yoke upon you and learn from Me, for I am gentle and lowly in heart, and you will find rest for your souls. (Matthew 11:28-29)

コロナとインフルエンザのワクチンを打ちましょう

総合診療科部長 南郷 栄秀

新型コロナウイルス感染症も第7波が落ち着いてきて、発熱外来を受診される患者さんも減ってきました。ワクチン接種が進んだこともあって、感染する人は多くてもほとんどの人は症状が軽くて済んだようです。発熱外来でも、具合の悪い患者さんが来られると、ひょっとしてワクチンを打っていないかもとの予想が当たるくらいです。

私たち総合診療科は2021年4月に新しくできた診療科です。「総合診療」とはあまり聞き慣れないかもしれませんが、「総合的に診る」のを特徴としています。誰も年を重ねるにつれてさまざまな病気が出てきますが、それらを全部まとめて診ることを専門にしています。ありふれた病気を中心に診つつ、各専門科の医師と連携を取って診療にあたっており、

いわばオーケストラの指揮者のように交通整理をしながら診療を進めていきます。どこの科に行ってもいいかわからないときなども、まずは私たちにご相談ください。

これから冬を迎えると、一旦落ちていた新型コロナウイルス感染症も、第8波が押し寄せてくることが予想されます。一昨年、昨年はあまりみられなかったインフルエンザですが、夏にもちらほら出ていたので、今年の冬は流行が懸念されています。コロナとインフルエンザは症状も似ていて、同時に流行すると具合が悪くなる人が多く出ると予想されています。ぜひ、両方のワクチンを打っていただき、感染予防策とともに万全な備えをしていただければと思います。

164号の内容

コロナとインフルエンザのワクチンを打ちましょう	1	聖母病院創立物語 第1回	3
外科通信 第1回	2	お知らせコーナー	3
放射線科通信 第1回	3	外来診療表	4

一検診を受けて長生きしましょうー

外科 部長 田中敏明

「外科」といえばどのようなイメージをお持ちでしょうか？
ざっくりいうと「手術で病気を治す科」です。外科の守備範囲は、施設によって幅がありますが、聖母病院の外科は、胃癌や大腸癌などの癌の手術のみならず、癌以外の手術（ヘルニアや虫垂炎、胆石など）をおこなっております。また、最近では、お腹を大きく切開することなく、数カ所の5mmから1cm程度の創で治療をする腹腔鏡手術を取り入れていることで、患者さんの体の負担を軽減しています。

さて、外科で行うことが多い癌の手術ですが、技術の進歩や薬剤の進歩によって、これまでよりもより体への負担が少ない治療で、かつ、治る可能性も高くなっています。ただ残念ながら、手術後に再発する患者さんもうらっしゃるのが現実です。「日本人に2人に1人は癌になる時代」と言われていますが、できるだけ癌で不幸になる方が減って欲しいと願っています。

命に関わる病気である癌ですが、一番効果がある手段は、早期発見・早期治療なのです。どんなに進歩した手術や薬でも、早期発見には、まるつきり敵いつこありません。そして、癌は早期発見のための検診が発達している病気でも

もあります。例えば、2020年の女性の癌の死因1位・男性の癌の死因3位の大腸癌ですが、便潜血の検査で早期発見につなげることができます。便潜血検査は便を採取するだけなので、体への負担



はありません。にもかかわらず、早期大腸癌の約50%、進行癌では80～90%を見つけることができます。さらに、大腸カメラまでおこなえば完璧です。癌の発見はもちろんのこと、大腸癌になる前の大腸ポリープの段階で発見・切除することができます。大腸癌で命を落とす可能性は格段に減ります。

私たちは手術を生業としている外科医ですが、早期発見で手術に至らない（＝治る可能性の高い）患者さんが増えることを願っています。また、残念ながら手術が必要な段階での発見であっても、少しでも早く、治る段階で見つけてほしいと思っています。ですので、聖母病院にかかっている患者さん、手始めに年に一度の大腸の検診を受けてみませんか？ 大腸カメラはハードルが高いとおもいますので、まずは便潜血から。主治医の先生にぜひ相談してみてください。

低線量肺がんCT検診(1)

放射線科 部長 戸邊公子

肺がんは、罹患数の増加とともに、死亡率も年々、上昇しています。1998年には胃がんを抜いて肺がんが死亡率の第1位となりました。その後も死亡率は高まり、2020年には約7万5600人が肺がんで亡くなっています。男女別の死者数は、男性で約5万3242人（死亡率第1位）、女性で約2万2338人（死亡率第2位）となっています。肺がん患者さんの喫煙率は、ある調査によると肺がんの男性患者さんで55.0%、女性患者さんで16.1%と、男女ともにがんでない人に比べて高い傾向が見られます。過去の喫煙経験も含めた喫煙率は男性患者さんの方が女性患者さんよりも3倍以上高いです。禁煙すると肺がんリスクの低下、治療効果の向上が見られるため、まずは禁煙

を心がけてください。

現在、肺がん検診としては、胸部エックス線検査、または胸部エックス線検査＋喀痰細胞診の組み合わせが広く行われていますが、早期の小さながんまで発見するのはなかなか難しいのが現状です。そのため、近年ではより小さな病変を検出することができる胸部CTを検診として行う施設が増えてきています。

低線量肺がんCT検診の目的は、肺がんを早期に発見することです。すなわち、転移を起こす前の完治可能な時期に肺がんを見つけ、適切な治療を行うことにより、肺がんで死亡しないようにすることです。肺がんにならないようにする予防対策とは異なります。

胸部エックス線（レントゲン）写真では、肺の約3分の1は近接する臓器（心臓や血管、横隔膜など）と重なりますので、小さな肺がんを見つけることが困難な場合があります。しかし、CTは断面像ですから重なりがありません（次回へつづく）。

聖母会の起源

小児科 部長 猪野雅孝

社会福祉法人聖母会聖母病院は2022年(令和4年)12月に創立91周年を迎えます。聖母会の母体である「マリアの宣教者フランシスコ修道会(Franciscan Missionaries of Mary: FMM)」のシスター(修道女)5人が、今から124年前に熊本の地でハンセン病患者の救済活動を始めたことが、聖母会の活動の発端でした。この連載では、ハンセン病患者の救済活動から聖母病院創立までの様子をご紹介します。

パリ外国宣教会の宣教師ジャン・マリー・コール神父(1850～1911)が1889年(明治22年)に熊本に来て目にしたのは、熊本城を築城した加藤清正公を祀る本妙寺の周りに集まるハンセン病患者たちの悲惨な姿でした。かれらに救済の手を差しのべるために、コール神父は1896年(明治29年)に、フランスなどからの募金で本妙寺付近の花園村中尾丸の土地を購入し、長屋二棟の施療所を開設しました。中尾丸施療所と名付けられたこの施療所で、コール神父は「ショファイユの幼きイエズス修道会」のシスターたちの助けを得て、男女各15名の患者と共に暮らし始めましたが、資金繰りも困難で、十分な世話や看護ができない状態でした。かれらの世話をするハンセン病専門の病院が必要と考えたコール神父は、そのような病院を運営する修道会を探し、ローマ教皇庁にも派遣を依頼しましたが、なかなか見つかることができないでいました。

そのような中で、「FMMの創立者は“ハンセン病者を救うためなら”どんな要請も決して断わらない」ということを耳にすると、すぐに創立者マリ・ド・ラ・パシオン(Marie de la Passion、1839.5.21～1904.11.15)に派遣を要請する手紙を書きました。その手紙には、この事業の悲惨で貧しい実状、到底修道院とは言えないような粗末な家屋、寄付金だけで運営しなければならず、経済的な保証は一切ないことなどが書かれていま



日本に最初に派遣された5人のシスター

左から、
副修道院長マリ・ベアタ・ド・リマキュレ・コンセプション(カナダ人)
マリ・アニック(フランス人)
マリ・ド・ラ・ピュルテ(フランス人)
修道院長マリ・コロンプ・ド・ジェズ(フランス人)
マリ・ド・サン・トリフィン(フランス人)

した。このような条件にもかかわらず、創立者はこの呼びかけを即座に受け入れました。

日本に派遣される25歳から29歳までの若い修道女が5人選ばれました。誰もが自ら望んで応募したといわれています。この5人は1898年(明治31年)9月1日にパリにて創立者から励ましの言葉を受け、4日にマルセイユ港を出港し、10月15日に長崎港に到着、10月19日に熊本に到着しました。この日が聖母会の事業開始の起源とされています。

お知らせコーナー

患者満足度調査(外来)を実施します

11月21日(月)～12月2日(金)

アンケートにご協力を、よろしくお願いします。

患者相談窓口のご案内

相談窓口では、患者様、ご家族の皆様からの様々な、ご相談・ご質問・ご意見に対応しています。遠慮なくご相談ください。

対応時間

- ◆ 平 日 8:30～16:45
- ◆ 土曜日 8:30～12:30
- ◆ 第3土曜日・日曜祝日・病院休診日は休み

相談内容

- ◆ 療養に関すること
- ◆ 医療費や介護・福祉制度などに関すること
- ◆ 治療に関する不安や苦情、要望など
- ◆ 医療安全に関すること その他

担当者

内容に応じて、看護師・社会福祉士・医療安全管理者・薬剤師・管理栄養士・パストラルケアワーカー等が対応させていただきます。

場 所

本館2階 地域連携部内

緩和ケアのご案内

緩和ケアとは...

- ・身体の痛みや倦怠感などの身体的症状の軽減
- ・落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛の軽減
- ・病気との向き合い方や今後の生活への悩み

など、診断されたときから行う患者さんやご家族の不安や苦痛を和らげるためのケアのことを言います。自分らしい生活を送るためのお手伝いをします。

緩和ケアチームは、以下の専門スタッフで構成されています。

緩和ケア内科医／精神科医／緩和ケア認定看護師／薬剤師／
管理栄養士／医療ソーシャルワーカー／
リハビリテーション科／歯科衛生士

緩和ケアは、いつでも受けることができます。

緩和ケアチームの支援をご希望される場合は、主治医または看護師へお気軽にご相談ください。

*診療報酬に基づいて算定させていただきます。
詳細を知りたい方は、1F窓口の事務職員にお尋ねください。

聖母病院
緩和ケアチーム

外来診察表

◇お知らせ◇ 当院は原則予約制です。ご予約のない患者さまは、お待ちいただく時間が長くなる可能性あることをご了承ください。(令和4年 10.1～)

			月	火	水	木	金	土 (第3週休診)
内 科	午前診療	①	濱松 永昌	松下 昌直	北濱真理子	宮本 大介	濱松 永昌	宮本 大介
		②	岡野 真弓	市瀬 裕一	井部 進	岡野 真弓	小野 真理	市瀬 裕一
		③	小野 真理	渡邊 成美	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休	佐々木順子	稲垣 裕介
		④	伊藤 直人	宮田 由紀	庫川 恵理	伊藤 直人	北濱真理子	庫川 恵理
		⑤	庫川 恵理	伊藤 直人		井上ゆか子	岡野 真弓	
		⑥	宮田 由紀	藤井 大輔		藤井 大輔		
	午後診療	①	宮本 大介	北濱真理子	井部 進	安藤 稔/第5.休	岡田 健佑	
		②	伊藤 直人	小野 真理	桃井 瑞生	宮田 由紀	宮本 大介	
		③	藤井 大輔			宮本 大介	交代 制	
		④	交代 制				藤井 大輔	
総合診療科 (院内標榜)	午 前			南郷 栄秀		志水 健太	関口 豊	
	午 後	志水 健太	関口 豊		南郷 栄秀			
内 視 鏡	午 前	松延修一郎(外科) 鈴木辰典(内科)	宮野省三(外科) 濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科)	茅島敦人(内科)	井上幸紀(外科)	
	午 後	交代制 (内科)	宮野省三(外科) 濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科)	田中敏明(外科)		
外 科	午 前	井上 幸紀	松延修一郎	松延修一郎	田中 敏明	井上 幸紀	田中 敏明	
乳腺外科	午 前	加藤 昌弘		菊山みずほ	菊山みずほ	甲斐崎祥一	菊山みずほ	
	午 後	加藤 昌弘	神野浩光/岩瀬 哲			甲斐崎祥一		
泌尿器科	午 後	額賀 明里			額賀 明里			
整形外科	午前	①	小川 政明	橋本 健史	小川 政明	小川 政明	三箇島吉統	交 代 制
		②	小林 亜里	小林 亜里	土岐 尋江	小林 亜里		
		③	土岐 尋江	大伴 直央		第1.3 村越 薫 第2.4.5 土岐尋江		
	午 後		宮本英明 14:00～15:30 (予約のみ)					
産婦人科	午前	初 診	明石 一浩(8:45～)	坂井 健良(8:45～)	内田 浩(9:00～)	増澤 利秀	小野あすか(9:30～)	宮越 敬
		再 診	山内 潤 山内 美和	山内 潤 宮越 敬(10:30～)	増澤 利秀 山内 美和 戸田 里実	山内 潤 山内 美和 増澤 利秀	宮越 敬 戸田 里実	増澤 利秀 戸田 里実(～12:30) 第24 山内 美和
	午後診療			宮越 敬 14:00～15:30 (セミオープン外来)	胎児診断外来/宮越 敬	腫瘍外来/片岡史夫		
					第1.3 大森 茂 (14:00～15:00)			
小 児 科	①	江崎奈緒子	前田 由美	江崎奈緒子	大塚 素子	江崎奈緒子	大塚 素子	
	②	前田 由美	大塚 素子	新貝千賀子	前田 由美	高橋 美希	前田 由美	
	③	山中 聡子	高松朋子(神経)		第1.3.4.5(神経) 松井順子	新貝千賀子(予防接種)	非 常 勤	
	④			前田由美(予防接種)	高橋美希(予防接種)	新貝千賀子(予防接種)		
	健 診		江崎奈緒子	山中 聡子	猪野雅孝(BCG)	大塚 素子		
	1か月健診	江崎奈緒子 前田 由美 猪野 雅孝		猪野 雅孝 山中 聡子 江崎奈緒子	前田 由美 大塚 素子 高橋 美希			
	専門外来	新生児フォローアップ/猪野雅孝 心臓/島田衣里子第2月診	アレルギー/前田由美 予防接種/大塚素子 夜尿症/大塚素子	アレルギー/前田由美 新生児フォローアップ/猪野雅孝 新生児フォローアップ/山中聡子	神経(月回)/衛藤 薫	アレルギー/江崎奈緒子 予約/大塚素子 予防接種/高橋美希		
精 神 科		永富めぐみ	永富めぐみ	非 常 勤	永富めぐみ	永富めぐみ	永富めぐみ	
耳 鼻 咽喉科	午 前	中川 秀樹 大石 直樹	中川 秀樹	中川 秀樹	齋藤康一郎	中川 秀樹	中川 秀樹	
	専門外来		音声外来	第2. 斉藤秀行 学童・小児(不定期)	音声外来		交 代 制	
眼 科	午 前	浜野 茂樹 太根 ゆさ	浜野 茂樹	浜野 茂樹 河井 明佳	浜野 茂樹 落合 淳一	海田 千恵 非 常 勤	浜野 茂樹 非 常 勤	
	専門外来	浜野 茂樹			浜野 茂樹			
皮 膚 科	午前	1 診	松浦 功一	松浦 功一	小林 里実	神田 憲子	第2.4 小林里実	松浦功一/平山愛里彩
		2 診	平山愛里彩	平山愛里彩	矢作 美奈	西山有希子	第1.3.5 平山愛里彩	第1 宮田龍臣
		予約外来	川上 理子	小林 里実	川上 理子	特殊治療/小林里実	西山有希子	第2 吉田 傑
	午後	専門外来	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子 掌跖膿疱症性骨関節炎/ 石原陽子 掌跖膿疱症・光線・学童/ 津田淳子	乾癬・掌跖膿疱症・小児レ ーザー/小林里実 ピーリング/ 平山愛里彩 松浦功一 掌跖膿疱症/ 松浦功一 平山愛里彩	小児皮膚科・小児レーザ/ 川上理子 小林里実 乾癬・掌跖膿疱症/ 小林里実 光線・学童/矢作美奈	手術/ 小林里実 平山愛里彩 松浦功一	乾癬・掌跖膿疱症/ 小林里実 光線・学童/平山愛里彩	

*休診日：日曜、祝祭日、第3土曜日、クリスマス（12月25日）、年末年始（12月30日～1月3日）

予約センターについて

全科診療予約については、予約センターにて受付致します。下記時間内に直通電話にてご連絡をお願い致します。

代表電話からはお繋ぎする事ができません。

予約受付時間	平 日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～12:30(第3土曜日除く)
予約センター電話番号	03-6908-1717	

※産婦人科・乳腺外科以外の科は、当日予約は受け付けておりません。
※検査の予約変更・キャンセルについて、医療上のご質問がある場合は各科外来へご連絡ください。
※診療状況によりご希望の日程で予約が取れない場合がありますが、予めご了承ください。

編集後記

爽やかな秋風が心地よく感じられる季節となりました。澄み渡る青空、木々の色づきや日暮れとともに聞こえてくる秋の虫の音。日に日に秋の深まりを感じます。
今秋は、全国各地でイベントや秋祭りなどの賑わいも戻りつつありますね。まだまだ十分な感染対策を実施しながらの開催となりますが、少しでも秋の醍醐味を堪能できたら嬉しいですね。(T.O)